

中期経営計画

「2030年にめざす社会・めざす姿」からのバックキャストिंगによって
2022～2024年度までの3カ年の中期経営計画を策定しました。

2030年のめざす社会

誰もが豊かな人生を実現できる、持続可能な社会

2030年のめざす姿

さまざまな社会課題解決に貢献し続けるイノベティブな先進企業
ステークホルダーからこれまで以上に存在を認められる企業

バックキャストिंग

中期経営計画

(2022-2024年度)

2030年からバックキャストした3年後の到達点

従来型の信販モデルから発展的に脱却し、
デジタル、グリーン、オープンイノベーションを切り口に、お客さま起点で
価値を創造し、社会への貢献と企業価値向上を実現

スローガン



Transformation Now!

お客さま起点で価値を創造する新時代の金融サービスグループへ

経営目標

稼ぐ力		資本効率		コストコントロール	
経常利益(億円)		ROE(%)		営業収益一般経費率(%)	
2022年3月期	2025年3月期	2022年3月期	2025年3月期	2022年3月期	2025年3月期
289	400以上	8.8	10以上	60.7	60未満

中期経営計画の重点戦略

事業戦略

01 重点市場の深耕と 新規事業の探索

- 決済保証事業／海外事業を重点領域と位置付け深耕
- B2Bなど、次の柱となり得る新たな事業分野を開拓

02 マーケットイン型営業の確立

- 真に顧客ニーズを起点とした、既存の領域に捉われない付加価値の高い商品・サービスやソリューションを提供

03 異業種・先端企業との協働による 新商品・サービス創出

- デジタルマーケティングとオープンイノベーションを梃子に、新たな商品・サービスを創出

04 プロセスイノベーションの深堀

- 先端技術も活用しつつ、顧客利便性と環境負荷軽減に資する業務プロセス改革

経営基盤

ガバナンス

- プライム市場上場や監査等委員会設置会社移行を踏まえた、ガバナンス体制の構築

新たな人財戦略

- 多様性に富んだ人材集団づくり
- ミッションを軸とした新たな人事プラットフォームの構築

財務規律・資本政策

健全性と収益性の両立

- 財務ガバナンス高度化を通じた筋肉質な収益構造と強固な財務基盤の構築

I種償還後の新たな資本政策

- 資本政策の基本方針を策定し、財務健全性・資本効率・株主還元の最適なバランスをめざす